第５８２回　放送番組審議会

１．日　　時　　2022年2月１５日（火）　午後１時30分～

２．開催場所　　テレビ岩手６階大会議室

３．委員総数　　９名

出席委員　　８名

委　員　長　　佐藤　健志
副委員長　　加藤　千晶
委　　員　　前田　千香子
委　　員　　越沼　洋一
委　　員　　緑川　智恵子
委　　員　　林　　英彰
委　　員　　岩山　徹
委　　員　　久保　公人

欠席委員　　なし

委　員　　蛎﨑　奈津子

社側出席者

榧野　信治　（代表取締役社長）
畑山　篤　　（常務取締役　報道制作・編成担当）
池田　学　　（常務取締役　経営企画局長　兼　技術局長）
藤原　哲也　（報道制作局報道部部長）
駒井　晴夏　（報道制作局報道部）

事　務　局

藤村　惠一　（編成局長兼編成部長）

４．議　　題

１．　1月30日(日) 24時55分放送

NNNドキュメント`22「雨の日も雪の日も～もりおか朝市日記～」

2. その他

５．資　　料　(資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

６．意　　見

【委　員　側　意　見】

○この番組の企画自体はコロナ禍における人々の力強さ、ないしは生活感みたいなものが伝わってくる大変良い企画だと思った。

○コロナ禍にあっても人々の生活に密着してさらに発展させていく力強さみたいなものがあり、真正面に向いて進んでいけば扉は開かれるというメッセージも強く感じた。

○コロナ禍であっても客足があまり減らない、新しい店舗も出店する、このような神子田朝市の底力は凄いなと思ったし、地元の人々から愛されているのだなということを改めて感じた。

○取材でカメラを回す人が一番の人々の人情っていうか、はっきり言ってこの番組の一番アピールできる部分で自分が主役になるという事に違和感を覚えた

○コロナ禍で売り上げが伸びていて出店が３倍になったことの要因や取り組みなどを吉田組合長にもうちょっと深く聞いて欲しかったなと思いました。

○せっかく３倍になったならば先に取材したお店よりは新しく出店した方達をもうちょっと取り上げても良かったのかなと思いました。

○北上川を東北の母なる大河と紹介していましたけどもほぼ岩手県内限定の河川なので、関東以西の方には誤解を与えかねないかなと思いました。

○コロナ禍の２年間を通して地方の長く歴史ある朝市が抱えている出店者の高齢化、その問題に対してコロナをきっかけに少しだが解決の糸口が見出してきたのではないかと感じました。

○単に現場に行ってインタビューを受けて出来た番組ではないなっていうのはすぐに分かった。
実際何度も足を運んで繋がりを作って親しみのある会話が生まれたのだろうなと感じた。

○方言で喋っているので、全国ネットについてどう考えたのか。字幕入れると失礼なのかもしれないし、ちょっと難しい問題ではあるが聞き取れない方もいたのではと感じた。

○３倍の１２０店舗に増えたというのはどこを起点に３倍になったのかが分かり辛かった。

○全体を通して人と人との関係が希薄になっているこのご時世で、改めて番組を見て人と人との会話やふれあいなどからほっこりとした温かさを感じる番組だったなと思う。

【局　側　意　見】

○吉田組合長が就任した２０２０年２月３月あたりが４０店、そこから「何屋さんですか」っていう話を聞いたのが２０２１年の８月あたりなのでそこが１２０店。

〇日記という名前の通り、映像を自分のペンのように綴るイメージで、なるべく自分の映像もたくさん使えるようにという使い分けでやっていた。
〇普段のニュースとは違って出来るだけ映像やその場の雰囲気を大事にしたいという思いもあったのでなるべく字幕・スーパーは入れたくないという製作者編集者の思いがあったので、ギリギリの判断で方言のスーパーを入れなかった。
〇カメラを矢野本人が持って主人公になるのとは別のやり方で客観的に対象者を取材しても面白いっていうのは、まさにその通り。

７．審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日
①自社放送　２月２２日（火）11：45-11：52「あなたと歩むテレビ岩手」
②テレビ岩手本社での据え置き
③読売新聞への掲載
④自社 HP での掲載　https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation